

■CDAスチューデント資格 科目一覧

分類	科目分野	概要	科目名称の例	認定要件	科目補足	備考	認定要件
正課	キャリア・デザイン	自身のキャリアを自らデザインする力を養成する科目が該当する。具体的には、以下の内容が含まれる科目が想定される。 ・キャリアデザインの前提となる自己理解や内的成長を促すもの ・自身のキャリア実現に必要な能力を、大学内外での学びを通して習得する視点を育成するもの ・自身のキャリアを社会との関係の中で考える機会を提供するもの	キャリア・デザイン キャリア・プランニング 職業選択演習	2単位必修 6単位まで	①「人生すごろく金の糸」の使用、②経験代謝の概念紹介のいずれかが盛り込まれていること	①1科目以上は、講座の担当教員またはスチューデントアシスタントをCDA有資格者（もしくはCDA有資格者相当の者）が担当する。 ②大学間の単位互換制度を利用した履修も可とする。	①10単位（相当）以上修得すること。 ②大学登録の場合は、認定に要する科目・項目を大学が指定する。（個人による判断は不可） ③登録していない大学に在学する学生の個人申請は受け付けない。
	キャリアに関する心理学	自律的なキャリア形成を支えるキャリアに関する理論、または会社などの集団の中で必要な理論に関する心理学が該当する。	キャリア心理学 産業心理学 職業心理学 学校教育心理学	4単位まで			
	対人支援に関する心理学	他者のキャリア形成を支援するための理論とスキル・技法を養成する科目が該当する。	キャリア・カウンセリング カウンセリング心理学 職業指導	2単位まで			
	社会及び職業世界の理解	キャリア形成に影響する社会及び職業世界に関する知識を学ぶ科目、または社会及び職業世界での何らかの実践を伴う科目が該当する。	キャリア形成と社会 労働社会学 人的資源管理論 組織行動論 インターンシップ（正課）	2単位まで			
正課外	就職ガイダンス	自身のキャリアを自らデザインする力を養成することを目的として、大学が主催する公的なガイダンスが該当する。		1,350分を超えても、2ポイント（2単位相当）とみなす	①「人生すごろく金の糸」の使用、②経験代謝の概念紹介のいずれかが盛り込まれていること ③在学期間で1,350分以上の出席を大学が証明すること	CDA有資格者（もしくはCDA有資格者相当の者）が担当に含まれるものとする。	
	キャリア・カウンセリング公開講座（基礎編）	JCDAが開講する科目。（準備中） 大学の協力が得られれば正課科目としての開講も可能。					
	隣接領域	その他、自律的なキャリア形成につながると各大学が判断した科目。	グループワーク 協働に関する科目	2単位まで		※「隣接領域」は、この科目が科目分野の主旨に対応する科目であることを証明する書類（様式自由）を要するものとする。	